

### 目次

2024年度GISA学会賞募集 -----	1p	GIS資格認定協会（GISCA）からのお知らせ -----	2p
企画委員会からのお知らせ -----	1p	学会からのお知らせ -----	2p
東北支部からのお知らせ -----	2p	事務局からのお知らせ -----	3p

### 【2024年度 GISA 学会賞募集】

〔学会賞委員会委員長 奥貫圭一〕

2024年度地理情報システム学会賞6部門の募集を行います。  
学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・  
決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<https://gisa-japan.org/awards/guideline.html>

募集部門：

- 「研究奨励部門」（本年3月末日時点で35歳以下の者）
- 「学術論文部門」
- 「ソフトウェア・データ部門」
- 「教育部門」
- 「実践部門」
- 「著作部門」

応募期限：2024年7月12日（金）

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。選考結果は、9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年10月に開催予定の第33回研究発表大会で表彰されます。

### 【企画委員会からのお知らせ】

〔企画委員長 山本佳世子〕

#### ■ GISのトピラを開けよう～学生と業界のマッチングイベント～2023

企画委員会では、2022年度から、「GISのトピラを開けよう～学生と業界のマッチングイベント～」というイベントをオンライン（Zoom）で開催しています。このマッチングイベントは2部に分かれており、第1部は本学会の賛助会員の企業と学生の発表、第2部は各ブレイクアウトルームに分かれて賛助会員の企業と学生の面談を行いました。学生は、たとえ本学会の会員でなくても、GISに関心を持つ学生ならば誰でも、発表・聴講をすることができます。また、賛助会員の企業が学生の発表を評価し、優れた発表を行った発表者には最

優秀賞、優秀賞等が授与されます。

2023年度は、このマッチングイベントは2022年9月6日（水）13:00-15:40に開催され、賛助会員の企業6社（株式会社パスコ、アジア航測株式会社、朝日航洋株式会社、株式会社インフォマティクス、ESRI ジャパン株式会社、国際航業株式会社）、発表者6名（大学院生）、聴講者6名（学部生）が参加しました。2023年度は優れた発表を行った発表者がとても多く、以下の4名の大学院生の皆さんが最優秀賞を受賞しました。

- 田中優也（立正大学大学院地球環境科学研究科）
- 長野伸秋（電気通信大学大学院情報理工学研究科）
- 藤原伶（電気通信大学大学院情報理工学研究科）
- 西條真結乃（徳島大学大学院創成科学研究科）

このマッチングイベントは、冒頭で述べたように、昨年度から開催しています。昨年度のこのマッチングイベントを契機として、発表者の大学院生が賛助会員の企業に就職したそうです。2024年度以降も、より多くの賛助会員の企業、学生に参加していただけるように、これまでの成果を基盤に改善・工夫し、継続する予定です。ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

#### ■ G空間 EXP02023 地理情報システム学会主催シンポジウム

企画委員会では、例年と同様にG空間 EXP02023に参加し、スマートシティと空間情報通信技術に焦点を当て、本学会主催のシンポジウムの動画を制作・公開しました。これまで自治体分科会の方々を中心に、G空間 EXP02023での本学会主催シンポジウムを企画していただいていた。しかし、2023年度は、企画委員会でテーマをまず考え、関連した研究を行う会員3名を講演者として選びました。2023年度の本学会主催シンポジウムの概要は以下のとおりです。

テーマ：「スマートシティ構築のために空間情報通信技術が果たす役割」

第1部 講演

講演1：「名古屋市・日進市における都市スマート化実現のための防災を中心とした取り組み事例紹介」

杉田暁（中部大学准教授）

講演2：「安全・安心なまちづくりの支援を目的とした東海大学と近隣自治体との連携事例」

内田理（東海大学教授）

講演3：「自治体のスマートな意思決定に向けた行政データ活用の挑戦～行政データと政府統計を活用した空き家分布推定の取組～」

秋山祐樹（東京都市大学）

#### 第2部 総合討論

司会：山本佳世子（電気通信大学教授）

第1部では3名の会員にそれぞれ講演をしていただき、第2部では司会者から3点の論点を示し、各講演者に各論点についてコメントをしていただきました。3点の論点とは、「GISなどの空間情報通信技術は、スマートシティ構築にどのように役立つのか」「各講演者の対象での困難点は何か」「スマートシティ構築のために、空間情報通信技術以外に必要な技術は何か」です。

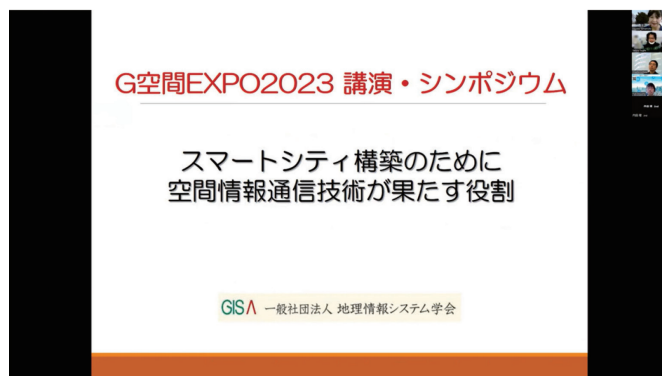
シンポジウムの動画は以下のG空間 EXPO2023 講演・シンポジウム、地理情報システムのYouTubeチャンネルに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

G空間 EXPO2023 講演シンポジウム YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=3eAo8ji3pxw&t=2s>

地理情報システム学会 YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=ynmYyN6nGOY>



地理情報システム学会 YouTube チャンネルより

#### ■ 第2回研究会

企画委員会では、2022年度から、賛助会員の行政や企業の方々を講師にお招きし、会員向けの研究会をオンライン（Zoom）で開催しています。2023年度の研究会は企画委員会の溝淵真弓委員が全てを企画し、3月13日（水）16:00-18:00に、「3D都市モデルの現状と今後の展望」をテーマとして開催されました。3D都市モデル関連事業に取り組んでいる6社の企業（朝日航洋株式会社、アジア航測株式会社、ESRI ジャパン株式会社、国際航業株式会社、株式会社パスコ、株式会社三菱総合研究所）、会員37名が参加しました。最初に上記6社の事例発表をそれぞれしていただき、その後に参加した会員との意見交換、質疑応答を行いました。6社の企業の方々と会員とのやりとりはとても活発で、3D都市モデルは会員にとってとても興味深いテーマであったことがよくわかりました。

2022年度の研究会は、国土交通省国土地理院の方々を講師にお招きし、「地理院地図の紹介」をテーマとして開催しました。この時にも多くの会員の方々が参加し、様々な意見やコ

メントが出るとともに、講師の方々と意見交換を活発に行っていました。2024年度以降も、会員の皆様に関心を持つテーマを発掘し、さらに多くの方々に参加していただけるように改善・工夫し、継続する予定です。ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

### 【東北支部からのお知らせ】

[東北支部長 井上亮]

#### ■ 東北支部研究交流会 開催報告

2024年3月13日（水）に東北支部研究交流会を東北大学青葉山キャンパスで開催し、東北地方在住の大学や企業の研究者や学生から、計9件の話題提供が行われました。空間的異質性やホットスポットの分析や、リモートセンシングによる自然環境評価、移動履歴や滞在人口データなどを活用した人流の解析、歴史情報のデータベース構築など、地理空間情報に関する多岐にわたるテーマについて紹介が行われ、約20名の参加者を得て活発に議論されました。来年度も同時期の開催を考えております。奮ってご参加ください。

### 【GIS資格認定協会（GISCA）からのお知らせ】

[担当理事 大伴真吾]

GISCAでは、GIS教育プログラムの認定を行っております。地理情報システム学会員、地理情報システム学会の賛助団体の構成員あるいは関連学協会等の会員からの申請により、①過去1年以上申請する教育を実施していること、②大学の学部以上の教育レベルであること、③教育内容が地理空間情報分野の知識体系の範囲に入っていることをGISCAで審査します。GIS教育プログラムとして認定されると、向こう5年間、GISCAホームページで公開するとともに、GIS教育認定プログラム参加証を発行することができます。このGIS教育認定プログラムへの参加者は、GIS上級技術者の申請・更新時に教育実績の証拠として利用でき、通常のGIS教育時間ポイントの2倍を申請することができます。GIS教育プログラムの審査は無料でっておりますので、GIS教育を広く一般向けに実施される方は、ぜひこの制度を活用し、価値あるGIS教育機会の増加とPRを図っていただきたく存じます。詳しい情報につきましてはGISCAホームページのGIS教育認定のページをご覧ください。

2024年2月時点の認定数は次のとおりです。

- ・GIS名誉上級技術者 35名
- ・GIS上級技術者 130名
- ・GIS教育認定プログラム 10件

### 【学会からのお知らせ】

#### ■ 2024年度一般社団法人地理情報システム学会定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他

の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。  
日程：2024年5月18日（土）14：00～15：00（予定）  
詳しくは、後日ホームページに掲載いたします。

## ■ 2024年度学術研究発表大会のご案内 《予定》

2024年度地理情報システム学会研究発表大会は、2024年10月26日（土）・27日（日）に京都大学宇治キャンパスにて開催いたします。秋の観光シーズン真っ只中の京都は大変混み合いますので、お早めに宿泊場所の確保をお願いいたします。発表申し込みの手続き方法など詳細は、決まり次第メールニュースやWebサイトでご案内します。

## ■ 日本地球惑星科学連合 2024年大会

日程：2024年5月26日（日）～31日（金）  
会場：幕張メッセ

詳しくは・・・[https://www.jpгу.org/meeting\\_j2024/](https://www.jpгу.org/meeting_j2024/)

なお、当学会関連セッションは以下の通りです。

H-TT15 Geographic Information Systems and Cartography  
H-TT17 地理情報システムと地図・空間表現

## ■ 2024年度GIS教育実践アワード—初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰—について（予告）

2024年度もGIS教育実践アワードの表彰事業を予定しております。募集要項および過去の授賞については、以下のURLでご確認ください。2017年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<https://gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：2024年7月1日（月）～8月31日（土）17時必着  
表彰（原則各1点以内）：

国土交通大臣賞（総合的な観点）  
地理情報システム学会賞（GISの効果的な活用の観点）  
日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）  
ESRI ジャパン賞（GISの教育的な利用の観点）

主催・後援（予定を含む）：

主催：一般社団法人地理情報システム学会  
後援：国土交通省、文部科学省、一般財団法人 日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人 人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人 日本地理学会、毎日新聞社

10月開催の第33回地理情報システム学会学術研究発表大会内で表彰式を執り行います。選定された個人またはグループの代表者には、事例発表をしていただくことを予定しています。なお、対面で参加される事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担の予定です。

## ■ 退会手続きについて

会員専用ページから、ご自分で手続きが可能です。なお、未納会費がある場合はお手続きができません。会費完納後に手続き可能となりますが、システム上手続きが進まない場合は事務局にご連絡ください。

今年度末で退会をご希望の方は、3月31日までに退会手続きを取られた場合は新年度の年会費は発生しません。

## ■ 2024年度年会費について

2024年度会費（2024年4月1日～2025年3月31日）納入については4月下旬頃、事務局よりご案内いたします。2024年度からの年会費は口座振替の利用によらず、正会員10,000円、学生会員5,000円となります。他の種類の会員について変更はありません。

## ■ 学生会員のみなさまへ

2024年度も学生会員希望の方は、学生証のご提出が必要です。下記URLより学生証コピーのアップロードをお願いいたします。（4/4（木）まで）

<https://survey.mynavi.jp/cre/?enq=1011MEHx9xU%3d>

来年度以降学生ではなくなる方は、正会員への会員種別変更をお願いいたします。事務局までご連絡ください。規定により、学生証のアップロード、または正会員への変更手続きがなかった方は退会となってしまいます。お忘れのないよう、期日までのお手続きをお願いいたします。

## 【事務局からのお知らせ】

### ■ 会員登録変更・退会等について

現在の会員登録の状況は、学会WEBページの会員専用ページから、ご自分で確認・変更することが出来ます。なお、今年度一杯で退会希望の方は、2024年3月31日までの手続きが必要です。（4月1日から、新年度の学会費が発生します）

2024年2月27日現在の個人会員1102名、賛助会員50社

### 賛助会員

朝日航洋(株) アジア航測(株) アドソル日進(株) (株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株) NECソリューションイノベータ(株) 愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株) 大阪土地家屋調査士会、(株)かみこう、関東中部G空間情報技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州GIS技術研究会、近畿北陸G空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株) 国土情報開発(株) (株)古今書院 GIS支援センター、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株) (株)ジオテクノ関西、(株)ジオテクノロジーズ、(株)ゼンリン、中四国G空間情報技術研究会、デジタル北海道研究会、東北G空間情報技術研究会、(株)ドーン、長野県G空間情報技術協会、いしかたGIS協議会、日本工営都市空間(株) 日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株) (財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、(一財)日本デジタル道路地図協会、ノビフィックコンサルタンツ(株) (株)パスコ、北海道G空間情報技術研究会、(株)マップクエスト、(株)マップル、(株)松本コンサルタント、三菱電機(株) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (財)リモート・センシング技術センター、経済産業省特許庁、国土交通省国土地理院、総務省統計局統計情報研究所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

### 学会分科会連絡先一覧

■自治体：小泉和久（千葉県浦安市）  
事務局：青木和人（あおきGIS・オープンデータ研究所）  
Tel：050-5850-3290  
E-mail：kazu013057@gmail.com  
■ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）  
Tel：03-5379-5601  
E-mail：info@georetail.tokyo  
■防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）  
Tel：0774-38-4333  
E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp  
■地図・空間表現：若林芳樹（東京都立大学）  
Tel：042-677-2601  
E-mail：wakaba@tmu.ac.jp

■FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）  
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)）  
Tel：049-244-4032  
E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp  
■若手分科会：関口達也（京都府立大学）  
Tel：075-703-5428  
E-mail：ta-sekiguchi@kpu.ac.jp  
■GeoAI：巖網林（慶應義塾大学）  
Tel：0466-49-3453  
E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp  
■地理情報標準調査会：村上 広史（青山学院大学）  
事務局長：太田守重（国際航業株式会社）  
Tel：03-5656-8685  
E-mail：morishige\_ota@kk-grp.jp

### 地方支部の連絡先一覧

<北海道支部>  
支部長：株式会社ドーコン 三好達也  
連絡先：NPO法人Digital北海道研究会（内）  
Tel：011-299-8104, E-mail：gisahokkaido@dghok.com  
<東北支部>  
支部長：東北大学 井上亮  
Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp  
<中部支部>  
支部長：中部大学 福井弘道  
連絡先：杉田暁（中部大学） Tel：0568-51-9894,  
E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp  
<関西支部>  
支部長：大阪工業大学 吉川眞  
連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel：06-6954-4293,  
E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp

<中国支部>  
支部長：広島修道大学 川瀬正樹  
Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp  
<四国支部>  
支部長：徳島大学 塚本章宏  
Tel：088-656-7616, E-mail：tsukamoto.akihiro@tokushima-u.ac.jp  
<九州支部>  
支部長：九州大学 三谷泰浩  
Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp  
<沖縄支部>  
支部長：沖縄国際大学 崎浜靖  
E-mail：sakahama@okiu.ac.jp  
連絡先：澤岨直彦（NPO法人沖縄地理情報システム協議会）  
Tel：098-863-7528, E-mail：takushi7015keisayasaki@gmail.com

■ 編集後記 ■  
2023年度は、私にとって多岐にわたる充実した経験の年となりました。学術大会での口頭発表、委員会活動でのインタビュー動画制作、そしてこのニューズレターの編集を通じて、多くを学び成長する機会を得ました。ただ慣れない仕事で先生方、事務局の皆様にはご面倒おかけしてしまいました。実務面では、土木施工現場での地理情報解析の活用により、現場の生産性向上とその定量的な評価方法の検討に注力しています。GISを用いた意思決定のサポートと実践的な改善策の実現に向けて、積極的に取り組んでおります。今後、これらの成果を共有させていただけるように邁進いたします。  
会員の皆様におかれましては、どのような一年をお過ごしになりましたか？引き続き、次年度も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(株式会社 EARTHBRAIN 谷口亮)

地理情報システム学会ニューズレター

第129号 ●発行日2024年3月25日

■発行  
**一般社団法人 地理情報システム学会**  
〒100-0003  
東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
パレスサイドビル(株) 毎日学術フォーラム内  
一般社団法人地理情報システム学会事務局  
TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555  
E-mail: maf-gisa@markmynavi.jp  
URL: <http://www.gisa-japan.org/>